

「M情報」活動企画運営団体
 救う会大阪
 米国に原爆投下謝罪を求める会
 大阪の公教育を考える会
 スパイ防止法の制定を求める会
 外国人参政権に反対する会・関西
 日教組の違法行為を自及する市民の会
 NO! 民主 桜組
 竹島を奪還する会・関西

MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT



No. 108
 【発行・編集】
 MASUKI 情報デスク
 増木直美
 大阪府吹田市古江台2-10-13
 TEL 090-3621-1509
 FAX 06-6835-0974
<http://mid.parfe.jp/>
 mid@jewel.ocn.ne.jp

「竹島」奪還!

竹島を奪還する会・関西



国家主権を奪いつくる

2月22日「竹島の日」を前に、14日午後、大阪で「竹島奪還」の啓蒙デモを行った。
 大阪市西区厚生年金会館前の新町北公園に集合した私達総勢800人。国歌斉唱の後、「竹島を奪還する会・関西」代表、西秀士より「竹島と拉致は2大国家主権侵害。どうあっても許すことはできない。」の挨拶。続いて島根より、「県土・竹島を守る会」福留暢哉副会長から「漁民が本当に困っている。」と現地報告を交え挨拶をいただき、早春の御堂筋を難波まで約1時間、「韓国軍は竹島から出て

け〜〜!」と行進した。道中、心斎橋にある韓国領事館前では、「竹島の軍事占領は日本の領土侵略。侵略国家の領事館など大阪には不要!」と道行く人に訴えた。さらに終着地の難波高島屋前で約2時間街頭演説。不肖増木も、「私達は民族差別をしていないのではない。歴史と国際法を語っている」と訴えた。

島根県警に座布団3枚!!
 2月21日、私たちは竹島問題の現地、松江に遠征した。東京から村田春樹軍団。岡山からテル爺こと、西川晃男氏一行。現地では県土・竹島を守る会梶谷事務所長を初め小沢秀多県議会議員にもご参加いただき、総勢200名の大宣言となり、静かな街が急に騒々しくなった。申し訳ない。
 さて、今年も韓国から、22日に行われる記念式典に抗議団が6名やってきました。後日聞いた話だが、この抗議団、ホテルに入るや、警察から日本の公務執行妨害等の法律の説明を受け、びびったのがホテルから1歩も出なかつたという。哀れんだ県側が武士の情けで抗議文だけは受け取ってあげたらしい。彼らが帰国して折檻されるとかわいそうだから。冗談はさておき、島根県警の押さえ込みが完全勝利した。3回目だから県警も学習したのだらう。島根県警にサブトン3枚!



2月21日、松江駅前で行った街頭行動。小沢秀多県議、「桜組」「外国人参政権に反対する会・東京、同・関西」が応援に駆けつけていただいた。

横断幕も新調し、2月28日、大阪難波高島屋前で「NO! 民主」の親分、土屋敬之東京都議と氣勢を上げる「桜組」



- 一、八月十五日、靖国神社に公式参拝する。
- 二、国家の主権を守る
- 三、国民の生活を豊かにする。

土屋敬之東京都議の新年調音

2月28日、「百人の会」での講演のため来阪される、土屋敬之東京都議に「美女軍団」がお待ちしています! というもの嘘をつき(?!) 2時間ほど早く大阪に入っていただき、難波高島屋前で「桜組」といっしょに「打倒! 民主」と氣勢を上げた。「打倒! 民主桜組」としては、どうしても土屋議員にお手本を示していただきたい。とご無理をお願いしたわけです。そしてその議員の演説の中で、何と、今囁かれています「新党」の綱領、土屋案が前記の通りできてきました。これは土屋案というより全員合意と私はいらんでいます。そして、全員で靖国神社に参拝し、新党結成の記者会見。事情があつて靖国神社に行けない人はその中に入れない。基本綱領以外は党議拘束をかけない。と。次号でテープおこしをご紹介します。と思います。乞ご期待!

村山富市元総理大臣、貝原俊民元兵庫県知事の「殺人」での刑事告発に関し、不起訴にした神戸地検を檢察審査会に審査請求

平成7年1月17日5時40分頃。阪神淡路大震災が起こった。それから15年が経った。

「地震は天災だ。そんなことは分かっている。しかし、100%天災か。人災の部分はないのか。もしその部分があるなら、その部分は責任者が責任を取らなければならぬのではないか。今まで15年、誰かがすると思つた。しかし誰もしない。それなら我々がやらなければ。」

こういつ思いで時効が迫つたギリギリの1月13日、村山富市元総理大臣、貝原俊民元兵庫県知事を「阪神淡路大震災の被害を語り継ぐ会」代表中山領雄、事務局増木重夫が兵庫地検に刑事告発した。そして受理されたのだ。ところが2日後に不起訴通知が来た。理由は「罪とならず」。言い換えれば被疑者らは全く真つ白で疑う余地もないということ。同じ不起訴でもせめて証拠不十分とか、嫌疑不十分とか、多少の灰色はつくと思つた。ところが真つ白。限りなく門前払いに近い。これは到底納得できるものではない。約6400人の亡くなった人が全て天災か。そんなことはありえない。そこで早速神戸檢察審査会に審査の申し立てを行った。

審査申立書 (抜粋)

九 不起訴処分を不当とする理由

明石市「歩道橋事故」での死者は十一人、「福知山線事故」での死者は百八人。何れも痛ましい事件で、被害者には痛切な哀悼の意を表させて裁きたいが、「福知山線」では鉄道会社の歴代社長が檢察庁から責任を追求され、「明石市」では、警察副署長の檢察審査会による起訴が決定された。

被害(そのかなりの部分が「人災」による)を出した「阪神・淡路大震災」で、何故、誰も刑事責任を問わないのか。前記二事件と比較しても「法の下の平等」原則が守られていない。本来、一般国民が告発する前に、檢察・警察当局が「人災」の刑事責任を追求、捜査すべきであり、国民に指摘される事を恥るべきである。少なく推量しても数百人が実質的に殺された事件を放置する檢察庁が、「司法機関」を自称する図々しさに呆れかえるばかりである。

十 結語

およそ人間社会の有る限り、天災、事故等の被害、損害は必然的に発生するのはやむをえない。ただ、其処に「人災」的要素が発現された時、我等は、今後の同種の被害を防止する為にも、その人災の実情や原因を調査し、責任者には相当の責任追求をしなければならぬ。

兵庫県では、その後、明石市での歩道橋事故が発生し、福知山線での列車転覆事故も発生した。との二件の事件では、関係責任者の刑事責任が、現在猶司直の手に依つて追求されている。仮令、天災の要素が有つたにせよ、明石や福知山線の数十倍、数百倍の死傷者を出した「阪神・淡路大震災」の刑事責任が不問に付され、黙認されるのであれば、法の公正さは著しく毀損され、法治制度の根底は大きく揺ぐであらう。

大震災当日とその後数日、放心、虚脱して、生命感を喪失した人々を廃墟で見た。だが、彼等はまた幸せであった。同時に瓦礫の下で救援を求めつつ、もがき苦しむ数百、或いは千名を超す同胞が実在していたのである。人災なるが故に。

彼等を救えなかつた責任の一端は、我々国民一人一人にも存在する。(4頁3段へ)

「不逞の輩」は高金素梅だけではない

「桜組」HPより

<http://mid.par.tejib.kanryo/sakurasumi/taihenda/top.htm>

昨年の8月11日(土)起こった高金素梅らの靖国神社狼藉事件について、私は以下のような思いを持っている。

高金素梅は、確かに「不逞の輩」である。鳩山内閣で連立与党となっている社民党から招聘された高金素梅一行は、靖国神社に「合祀を止めろ」と書かれた横断幕や拡声器を持参して押しかけ、制止しようとする神社職員に傷害を負わせ拳句、拜殿を土足で踏みこむという暴挙に出た。しかしその原因は、我が政府の靖国神社への対応にあると思う。また、我々国民にも大きな責任がある。

もしも、歴代総理大臣と閣僚が、春と秋の例大祭や開戦、終戦の日に、何を置いても靖国神社に参拝していたとしたら、どうだろう。国民有権者は挙って、靖国神社に参拝しないような候補者には投票せず、お祭りの日には政治家や財界人が引切り無しに靖国神社を訪れ、国民と共に尊崇の誠を捧げていたとしたら、どうだろう。

日本政府、日本国民が靖国神社の英霊祭祀を大切にしていたら、高金素梅と言えども、ここまで狼藉を働くことはできなかったのではなからうか。

また、この一行を招き入れるような政党は存在しなかったはずだ。戦後教育は靖国神社を否定し、命を捧げて祖国を護った方々への敬意や、感謝の念を持つという当たり前の国民教育を行って来なかったため、日本国民でありながら一度も靖国神社に参拝することなく一生を終える者さえいる始末である。

もう二度このようなけしからんことが起こらないように、靖国神社を蔑ろにするような言動を取る者を、国会議員としてはならない。

また、郷土のご英霊をお祭りしている靖国神社にさえ参拝しない者を、首長や地方議員にしてはならない。さらに、靖国神社を否定し、貶めるような教育者団体、つまり日教組や全教は、教育現場から追い出さなければならない。

ましてや、靖国神社に替わる国立追悼施設の建設を支持する現政権、民主党を政権の座から追い払わなければ、今回の告訴で高金素梅に厳正な処罰を与えることができたとしても、第二、第三の高金素梅が現れることは必至である。

今後我々は、高金素梅のみならず、靖国神社に対して、不敬な言動を取るすべての者と闘うべきである。

現在我々が、当たり前のように享受している快適な日常生活は、戦死した家族や友人に、早く復興日本を見てもらいたいと頑張った、心ある人々の努力の賜物ではないか。靖国神社の御霊に対する鎮魂、感謝の心が戦後復興の原動力であったことは、その時代を生きた人々がよく知るところである。

他の国々では思想の左右を問わず、すべての国民が戦死者に対して敬意を持つことが当然である。しかし、我が国はどうかと問われれば、非常に恥ずかしい限りである。高金素梅は許し難いがその前に、日本政府の姿勢、国民教育の在り方を正すことから目を逸らしてはいけない。

四月四日の国民集会では、参加者全員で「不敬な言動を取るすべての者との闘い」を確認しあいたいものである。

松谷祐子(三重県津市)

高金素梅「二度と日本の土は踏ませない」国民集会のご案内

日時 平成22年4月4日
午後6時15分〜8時半(6時間開場)
会場 文京区民センター
(地下鉄丸の内線後楽園駅、他)
呼びかけ人

- 湯澤 貞(靖国神社第八代宮司)
- 板垣 正(元参議院議員)
- 徳永信一(告訴・告発代理人)
- 古賀俊昭(第一次告訴告発人)
- 土屋敬之(東京都議会議員)
- 穴倉清蔵(千葉市市議会議員)
- 中條高德(英霊に心える会会長)
- 小田村四郎(李登輝友の会会長)
- 小林幸子(二宮報徳会会長)
- 森 敬恵
- 石戸谷慎吉(英霊奉賛日台交流会)
- 三宅教雄(台南会会長)

お願い①当日、高金素梅刑事告訴・告発に関し、代理人宛委任状にご署名のご協力をいただきたいと思っております。認印が必要ですので、ご準備いただければ感謝にたえません。
②会場費 1,000円
よろしくご協力ください。

高金素梅刑事告訴告発「ご協力を！」

去る平成21年8月11日、台湾の立法院議員高金素梅ら一行約五十名は突如靖国神社境内に現れ、神社に眠る多くの御霊の面前で、「靖国神社は合祀を止めろー」等と書いた横断幕を掲げ、拡声器を用いて「靖国NO!」等のシュプレヒコールを連呼して拜殿に迫り、あるものは静止する警備の神職に傷を負わせ、あるものは賽銭箱をまたぎ土足で拜殿に入るとい信じられない暴挙が、白昼行われました。やがて高金素梅らは、プーカード等を境内に捨て置いて意気揚々と引き上げ、彼らを日本に招聘した

社民党本部に凱旋、拍手をまわして迎えられ、帰国後北京に赴いて胡錦濤主席に戦果を報告するなど、全くの英雄気取りであり反省の色は全くないようです。

私たちは、今回のような靖国神社と御霊に対する公然不敬の狼藉を断じて許すことはできません。それは日本人の民族の魂を侮辱するものです。実は、高金素梅の靖国神社に対する狼藉は、今回に始まったことではなく、過去においても幾度となく靖国神社を訪れ、不敬を働いてきました。しかし、今度という今度は忍耐の限度を越えています。人々の崇敬を集める礼拝所において無礼を働くことは、刑法188条(礼拝所不敬罪)が禁じることで許されません。今こそ、怒りの声を挙げ、日本の司法に対して高金素梅に対する厳正な処罰を求め、高金素梅が二度と日本の地に足を踏み入れ、靖国神社に対する狼藉を働けないようにしなければなりません。

そこで、私たちは靖国神社の尊厳と日本人の魂を守るため、現在「靖国応援団」が中心となって進めている高金素梅の刑事告訴告発を側面支援し、「多くの日本国民が怒っているんだ。」ということを示したいと思っております。

どうぞ、国民大集会にご出席いただき、「怒りの声」を共有し、今回の告訴告発にご協力いただきたくお願い申し上げます。

主催 「高金素梅に日本の土は二度と踏ませない」国民大集会実行委員会

- 代表幹事 沼山光洋(靖國會)
 実行委員 村田春樹 増木重夫 松谷祐子
 郷右近夏美 西村修平 小川慎太郎
 柚原正敬 嶋田尊治 荻野弘子
 永山英樹 関口忠相
 実行事務局

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-7 清瀬会館7階 靖國會内
090-3105-2030(沼山)
090-3710-4815(増木事務係)

「桜組」芸能界進出?

今朝、「Cプロダクション、営業〇〇部長 横山ナントカです。」と、きちっと名乗りの携帯に電話があった。

「桜組」という歌手グループを知っているか。「桜組」は特許を取得している。調べてほしい。」と言ってきた。用件を聞くも「調べてほしい。」の一点張り、特に具体的な要求は何もない。要は、「使用指し止め」を言ってきたのかもしれない。半分・イヤ、9割寝ぼけている私はとりあえず聞くだけ聞いて電話を切った。

「桜組」という名称の中国の双子姉妹の歌手ユニットがあることは知っていた。ネットで調べるとやはりCプロ。ヤット軌道に乗りのつづがある「桜組」。名前は変えられない。私たちが違法なら「サクラ組」にしようとか勝手に考える。脈も早まる。

早速、ことあることに駆け込む徳永弁護士に電話を入れ相談。先生は「ムシムシ(無視)！」。「桜組」なんてどこにもある名前やろ。」と相談は5秒で終わり。あわや特許権侵害で一戦交えなければならぬのかと思ったが。

そもそもは中国の双子姉妹のユニットが日本の文化の代表「桜」を使用することが気に入らない。こつちが「使つな!」といたい。夕方、私は先方に(弁護士)の指示があったので「強気で」電話を入れ、「今朝の電話の趣旨はなんですか。名前を使用するなと言つてですか。」イヤ、そうではない。あなた方が政治活動をしていることはネットで知っている。ただ、「桜組」が芸能界へ進出することだけは「勘弁願いたい。」オイオイオイ! あほか!...これが顛末でした。「芸能界も脅威に思う「桜組」。いっそ進出しようか。という悪乗りの声も。それはそうと徳永先生、私の電話に開口一番に、「今度はマスキくん何やった!」?..?

国母選手の腰パン騒動

バンクーパー冬季五輪スノーボード男子ハーフパイプの国母和宏(21)は東海大の選手が、腰パン出だし、そのことを指摘された記者会見では橋本聖子団長の後ろに隠れ、貴社の質問に舌打ちするとう、反省どころか考えられない行動に出た。

私はこの問題が起きると速やかに橋本聖子議員の事務所、東海大札幌、JOC、文部科学省に電話を入れ、「服装の乱れが非行への入り口、今教育現場でどれだけ苦労しているか分からないのか。」と言った。JOC総務部のMさんは「主人も教師、よくわかります。」と言いい、「私もあきれます。」と。

私は現実的解決法として、その日が試合の3日前だったから、試合までに散髪に行かせるよう要求した。それも、頭を丸坊主にするのではなく(本当はそう言いたい)が(普通の大学生のヘアスタイルでいいから。そして、それで今回は不問に付したらどうだ。と提案した。選手は競技のみならず、その国の文化も代表する。あのヒッピヘア(?)は日本の文化ではない。税金で参加したことを忘れるな。とも言った。成績は8位。世界中で8位だからそれはそれですばらしい。

しかし、それはそれである。

特に東海大は前科がある。長野で国歌斉唱中に帽子をかぶっていた里谷タエも東海大だ。東海大の教育方針を聞いてみたいものだが、電話では恐縮していた。

今回、東海大札幌、JOC、文部科学省は真摯に私の話を聞いてくれ、団長に伝えるといってくれた。問題は橋本聖子団長(参)。事務所の対応が高圧的。全く聞く耳持たず。誰が任命したのだろう。「物分のいいオバサン」を演じ、次期選挙に備えるように感じた。

(2頁より続く)

だから「さて、今、」ここで長高責任者の責任と犯罪性を告発するのだ。人災で被害を受けた総ての人々と吾等自身、そして愛すべき子孫の為に。

十一 検察審査会法に基づき、緊急の審査の請求

当、審査請求は、殺人罪の公訴時効に著しく制約される。故に、早急な審査の必要があり、同法第三三条に拠り審査順序の変更、優先を、又、同法二一の規定に従い、可及的速やかに審査会の開催、を請求するものである。猶、公訴時効の進行に關しては、一月十七日に完成、成立していない事は、明白である。即ち、被疑者前名共に国外に視察、旅行を数多く行なつて居り、一年に十日としても、十五年では百五十日、つまり五ヶ月にも成る。従つて、時効は停止、中断され、現在も訴追可能である。法務省入国管理事務所へ職権で調査を依頼し、時効停止期間を確認の上、検察庁へ「不起訴は不当である」との正義溢れる結論を出されたし。

【参考】

兵庫地方検察庁への要望

一、被災者及び関係者の深甚な哀惜と痛憤の感情を尊重して戴きたい。
二、公訴時効が迫っている為に、迅速且つ社会的正義が全うされる厳正な操作を要望する。

三、被告発人の公訴時効の中断を早急に調査、確定して戴きたい。即ち、平成七年一月十七日以後に於ける被告発人の樽外滞在日数を調べ、その間の時効を中断して戴きたい。

四、被告発人は、当時に於ける中央、地方行政での最高権力者である。一般行政権力からの検察当局の独立を期待している国民の「法の下の平等」願望に慮えられたい。
五、今回の告発は、行政責任者の「不作為」が最大の追求要素である。貴検察庁が検察

活動資金のご協力をお願い

【ご支援等の口座】

郵便振替 006080824654 MASUKI 情報デスク
三菱東京UFJ銀行 千原支店 004349 普通 増集美

先ずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。

このレポートにもありますように、私どもは「国を破壊しようと思つている連中」と日々命がけで戦つています。ところが問題は活動資金。子供達に誇りある国を残すため今まで以上にがんばります。何卒、資金のご協力を賜りたく伏してお願い申し上げます。

○ カンパ金の主な使途は左記団体の活動の企画運営費です。

・ 活動の広報、資料等の発送費
・ 道路、公園使用申請料等
・ 活動のための交通費、通信費
・ 資料、横断幕、ビラ等の制作費
・ 備品購入費

○ M情報が活動の企画運営を行っている主な団体

- ・ 救う会大阪
 - ・ 米国に原爆投下謝罪を求めると
 - ・ 大阪の公教育を考える会
 - ・ スパイ防止法の制定を求める会
 - ・ 外国人参政権に反対する会・関西
 - ・ NO! 民主「桜組」
 - ・ 竹島を奪還する会・関西
- 前記口座、または同封の郵便振替にてご協力ください。

行政の不作為に依つて今回の国民、被災者の告発を無視、黙殺、圧殺するが如き対応の無き旨を精望する。

六、今回の告発は、時効に追われ、短期間に準備したものであり、今後新たな証拠の追加、又、賛同人の参加が予想される。新たな展開にも「国民に開かれた検察」の姿勢を維持して戴きたい。